

机上短信

編輯子

◎奈良原知事上京の土産は築港年限短縮と山林整理の事業なりと云ふこと知事は言明致され居然れども尚ほ一個の未成品の土産は儘かに可有之管にて候水産獎勵若くは珊瑚や真珠の採取養殖の獎勵は則ち之れなり

1907.8.10 (2) R

らしめ港灣の設計あるに至らしむ尋常人にして及び易からざる義と存候
◎宮古島司の談話によれば同島には東京遊學生の七人を出し内一人は帝國大學の法科に在り二人は早稻田の學校に在りと云ふと也文化の及ぶ所は此の島にして此の光明を見る聖代の恩深と謂つべく候

S20071

◎吾人は之を土産の未成品と云ふ只今直ぐ之れを縣民の利益として頂戴致す譯には參らざるべく候はんも愈々縣廳の一事業として獎勵せらるゝの曉き其の結果は明なるべく候就中縣下に於ける真珠貝の養殖若は此のもの、採取事業は奈良原男爵生會に掛けても獎勵せざれば相成申すまじき場合と存候第一は東京博覽會に於ける理上陸下の御懸掛りも云ひ日頃縣下の殖産の爲此もの御心に止めさせ給へるの一事を承はりたる今日に於ては男爵たるもの一日も安閑として居らるゝ譯のものにあらざるべく候
◎聞く所によれば男爵は本年の始め珊瑚珠採取談に關する本紙の記事に同意を表し今回の出京序を以て農商務當局に依頼して充分の研究を遂げ鹿兒島縣知事よりは此の採取綱の寄附を受けて歸れりと云ふこと也縣下の珊瑚珠に就ては古賀商店の主人も目下研究中とも承はり居候

◎何れにしても真珠は聖上の御言葉に對し參らざる忠義の關係上より等閑ならぬ縣下の一事業たるべく珊瑚の採取は水産事業の獎勵として試探を行ふ甚だ可なるべく候吾人は此の外夜光貝の保護に對しても充分の力を與たへんことを希望するもの也此の縣下の特産として工業用として殊に珍重のもの也世界的工業用品として螺鈿細工が如何に好評あるかは縣下の産業主宜しく注意すべき所なるべし

◎遊産物の開拓は縣下の利益あり彈丸黒子の琉球の天地を支那海、南洋諸方に迄も延長するものは一に水産業の獎勵に係らざる義と存候縣下の民々債發次第によりては水産王となる又た難きことにあらざるべく候是は只だ何事も苟息にして發憤足らざるにあり候縣當局に今更一氣張りを希望するのは民人をして利により憤起せしむるにありと存候

◎山林の經營其の緒は若くは全時に水産業の獎勵に任ず田地には甘蔗の作附け年々増加して行きつゝあり候泡盛の原料品に戻税を施行し本縣と南西地方とに直通航路を開始するに於ては面目一新方々に此の時にありと云ふべく存候

◎昨夜風月樓上知事歡迎會席上に於ける前田英次郎君の挨拶振りは縣下は於て近來の上品と見受け候旨語明晰理智共に兼ねたる快辯と臨場仕候

◎尖閣列島中の新消息、島王古賀氏によりて僅かに承知するを得申候同氏が國家事業兼自己の利益事業として同島に於ける盛力は嘗て人の知らざりし無人島に向つて港灣の開鑿に従事し日々用ふる所のメイナモ拾個若くは拾數個に及ぶのと也數年來同島開拓上の盡力は無人島をして既に住家あり